ITOCHU ENEX
TEAM IMPUL

Race Report

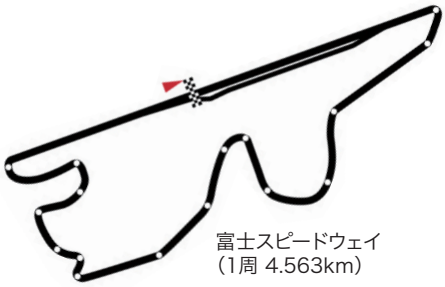
SUPER FORMULA Round3
FUJI SPEEDWAY
2017. 7. 8 sat ～ 9 sun

HOSHINO RACING Co.,Ltd.

表彰台へ届かずも力強いレースを披露

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL
No.19 関口 雄飛
No.20 ヤン・マーデンボロー

前ラウンドの第2戦岡山国際サーキットから約1ヶ月強。久々に国内トップフォーミュラの咆哮がサーキットへ帰ってきました。ITOCHU ENEX TEAM IMPULとしては、19号車の関口雄飛が勝ち獲った第2戦レース2の勝利の勢いそのままに、過去3年5戦中3勝と分の良い富士スピードウェイで再び勝利を収めるべく、レースへ臨みました。



富士スピードウェイ
（1周 4.563km）

7/8(土) 公式予選(ノックアウト方式Q1～Q3)

天候：☀ コース：ドライ
気温：32℃　路面温度：49℃
Q1 14:30～14:50
Q2 15:00～15:14
Q3 15:24～15:31

朝から晴天で気温も上昇し、真夏日となった富士スピードウェイ。予選が開始される14時30分には30度を超すコンディションとなりました。

Q1は20分間で行われ、下位6台をノックダウン。20号車のヤン・マーデンボロ―は開始前にピットを飛び出しピットロードでセッション開始を待ちます。19号車の関口雄飛はQ1開始後に落ち着いてコースイン。まずは最初のアタックをし、セッティングの確認を行います。この時点で、関口が1位でヤンが2位と1-2体制を形成。Q1後半の本アタックでも2台でこの順位とするべく、残り時間11分半となったところで、エンジニアは2台ともにピットへと呼び戻しセッティングに微調整を施した上でニュータイヤを装着。残り6分半でヤンがピットアウト。その後、残り5分で関口がピットアウトしていきます。出走全19台のタイムが1秒以内という超接近戦となったQ1で、ヤンが1′24.002をマークし4番手。関口はいまひとつタイムが伸びず1′24.293で10番手となりましたが、まずは2台揃ってのQ2進出を果たしました。

続く予選Q2は10分の間隔を開けて、15時ちょうどにスタート。最終Q3に進む上位8台がここの7分間で決まります。ヤンはこのQ2でもピットロードで待機しコースオープンになると同時にコースイン。一方の関口は開始から50秒ほど置いてからピットアウトしていきました。まずは関口が1'23.539をマークしQ3進出がほぼ確実に見えた2番手に滑り込むと、残り1分6秒のところで他車がスピンし、コース上でストップしてしまったため赤旗中断。このタイミングで全体ベストをマークしながらアタックを敢行していたヤンは、この周回を棒に振り、ピットへと戻ります。15時11分に残り時間3分でQ2が再開されると、ヤンは先頭でコースイン。上位8台へ滑り込むべく最後のアタックに賭けます。ベストなタイヤコンディションを既に使ってしまっていたため、2ラップ続けてアタックするも思うようにタイムアップならず。1'24.081のタイムは無念の9位となりました。Q3へ進出できていれば、ポールポジションを争う仕上がりだったので、本人もマシンを降りた後悔しさを隠しきれませんでしたが、逆に決勝レースへ向けて確かな手ごたえを掴みました。そして、関口もQ3進出をほぼ手中に収めていましたが、セッティングの確認のため再度コースイン。結局、タイム更新とはならなかったものの、逆に順位も逆転されることなく、赤旗中断前の2位の順位は変わらず。Q2を通過しQ3へ駒を進めました。

ポールポジションを決するQ3はQ2終了から10分間置き、15時24分にスタート。関口はコースオープンから約1分をピット内で待機し、コースイン。他車も同様の動きを見せます。関口はアタックを1周遅らせ、チェッカーが降られるとほぼ同時にホームストレートを通過。1'23.193のタイムをマークしますがPPへは届かずに3番手。少々セッティングに狂いが出てしまい、完璧なラップではありませんでしたが、決勝レースへ向けて虎視眈々と予選終了後もエンジニアとミーティングに勤しみました。

7/9(土） 決勝レース

天候：☀　コース：ドライ
気温：32℃　路面温度：44℃
決勝レース距離 4.563km×55Laps=250.965km
観客動員数：34,600人(土日2日間総合計)
決勝レース 14:13～15：33

前日の予選日に引き続き、厳しい暑さとなりました。気温も32℃まで上昇。路面温度は予選日よりは低かったものの、今回のレースではタイヤ交換義務・給油義務がなかったため各チーム、レース直前まであらゆる展開を想定し、作戦を組み立てていきました。レース前に行われた恒例の監督トークショーでも、監督の星野一義は通常はレース以外の話に脱線することも多々ありますが、舘信秀監督(VANTELIN TEAM TOM'S)や近藤真彦監督(KONDO RACING)とレース作戦についてのトークを披露。お互いに牽制しつつもファンに向けて聞き応えのあるトークショーとなりました。

レースは14時10分にフォーメーションラップがスタート。19号車の関口雄飛は3番手グリッドから、20号車のヤン・マーデンボロ―は9番手グリッドからスタートを切りました。関口はこれまでのレース、スタートで出遅れてしまうことが多くありましたが、今回は逆に順位を1つ上げて2位で1コーナーを通過します。ヤンは、スタートを決めて是が非でも順位を上げたいところでしたが、バトルの最中に他車と軽い接触もあり、オープニングラップを終えて12位に順位を落としてしまいます。序盤、2位の関口はポールポジションからトップを直走っていたNo.1国本雄資選手(P.MU/CERUMO・INGING)に徐々に差を拡げられてしまい、10周を終えて約6秒の差が付いてしまいました。この前後からピットインをするマシンが出始め、前半ピットイン組は主に給油のみでコースへと戻っていました。ITOCHU ENEX TEAM IMPULは、まずは14周目にヤンをピットインさせてリアタイヤ2本の交換と給油を行う作戦を採用します。そのすぐ直後の15周目には関口をピットインさせ、こちらはタイヤ無交換の給油のみの作業でコース復帰させます。前半にピット作業を行ったマシンのコース復帰がひと段落すると、関口は9位となるもピット作業を終えている中ではトップ、ヤンは13位のポジションで中盤戦に入っていきます。関口は後方から迫るNo.36 アンドレ・ロッテラー選手(VANTELIN TEAM TOM'S)と抜きつ抜かれつのバトルを展開するも、36周目のダンロップコーナーでアウトからオーバーテイクを許し順位を落としてしまいます。トップを走っていたNo.1 国本選手がトラブルにより戦線離脱すると、ピットインを遅らせて前が空いた状態で好ペースで周回を重ね、中盤以降にピットインをしていたNo.2　石浦宏明選手(P.MU/CERUMO・INGING)とNo.7　フェリックス・ローゼンクヴィスト選手(SUNOCO TEAM LEMANS)に先行を許し、関口は4位に。この後関口は、タイヤ無交換ということもありかなり厳しい状態。

ペースを上げることが出来ず、抜かれてしまったNo.36 ロッテラー選手にも食らい付いていけず、5位以下のマシンの煽りを受ける形となってしまいました。後半、5位のNo.15 ピエール・ガスリー選手(TEAM MUGEN)とオーバーテイクシステムをお互いに使用しながらサイドバイサイドのバトルとなるも、関口はフェアかつ、巧みなブロックで先行を許しません。ペースの上がらない関口に詰まってしまったマシンが数珠つなぎで走行する中、後半8位を走行していたヤンもこの4番手争いの集団に追いつきつつ、7位のNo.37 中嶋一貴選手(VANTELIN TEAM TOM'S)へバトルを仕掛けるもオーバーテイクには至りませんでした。関口はファイナルラップのホームストレートまでNo.15 ガスリー選手と僅差のバトルを繰り広げますが、4位を守りきり、0.035秒差でフィニッシュしました。ヤンも健闘しましたが最後まで順位浮上は叶わず、8位のままフィニッシュしました。

2台共にトップが見える位置でレースウィークを過ごしましたが、最終的にはポールポジション、優勝、表彰台へは届きませんでした。しかし、力強いレースを披露しポイントも加算できたことで前向きな内容を残し、次戦のもてぎへ乗り込むことが出来ます。もてぎでは2スペックタイヤ制も導入され、予選から多くの見どころがあるレースとなることが予想されます。引き続き、ITOCHU ENEX TEAM IMPULへ温かいご声援をよろしくお願いします。

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL 2017年シーズン ここまでの戦績

第1戦鈴鹿		関口雄飛	予選6位	決勝12位	J.マーデンボロー	予選12位	決勝18位
第2戦岡山	レース1	関口雄飛	予選PP	決勝2位	J.マーデンボロー	予選5位	決勝6位
第2戦岡山	レース2	関口雄飛	予選3位	決勝優勝	J.マーデンボロー	予選16位	決勝17位
第3戦富士		関口雄飛	予選3位	決勝4位	J.マーデンボロー	予選9位	決勝8位
ドライバーランキング		関口雄飛 3位 ／ J.マーデンボロー 14位					
チームランキング		ITOCHU ENEX TEAM IMPUL 3位					

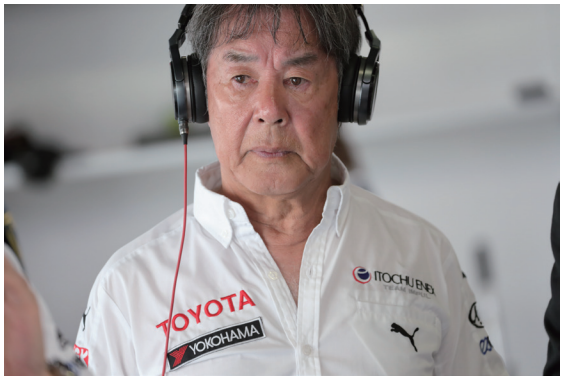
TEAM IMPUL Next Race Information

- SUPER GT 第4戦 7/22（土）～23（日） スポーツランドSUGO
- SUPER GT 第5戦 8/5(土)～6(日) 富士スピードウェイ
- 全日本スーパーフォーミュラ選手権 8/19(土)～20(日) ツインリンクもてぎ

www.impul.co.jp @IMPUL_official IMPUL.official

SUPER FORMULA

ITOCHU ENEX CO.,LTD.



2017 年 協賛会社様

TOYOTA

YOKOHAMA

ITOCHU ENEX CO.,LTD.

Mobil 1

ITOCHU PROPERTY DEVELOPMENT, LTD.

カースタレンタカー

カースタ CARLIFE STADIUM

エネフリ

KYUSYUENERGY

homenex

eコト でんき!

ENKEI

NGK SPARK PLUGS

PUMA

Arai HELMET

Ni again

JVCKENWOOD

CHOOSE NanoTech High Performance Coating

METAL SURFACE TREATMENT WPC

パティスリー 銀座千疋屋

KiiVA ENERGY DRINK

JUNACK

ThreeBond

JIMPUL

ご支援 誠にありがとうございます。 敬称略・順不同

SUPER FORMULA

ITOCHU ENEX CO.,LTD.

ドライバーからのコメント

No.19 関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi

良いペースで走れず、苦しかったですが4位でゴールできました。
全力は尽くせました。
応援ありがとうございました。

No.20 ヤン・マーデンボロー Jann Mardenborough

予選に悔いが残りますが、マシンには速さと強さがありました。
次戦に期待してください。
多くの皆さんの応援、ありがとうございました。

7/8(土) 公式予選(ノックアウト方式Q1〜Q3)

天候：☀ コース：ドライ　気温：32℃　路面温度：49℃

Q1 14:30〜14:50　Q2 15:00〜15:14　Q3 15:24〜15:31

▪ Qualifying　2017.7.8

Po	No	Driver	Car Name / Engine	Q1	Q2	Q3
1	1	国本 雄資 Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'23.855	1'23.352	1'23.044
2	2	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'23.861	1'23.847	1'23.107
3	19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'24.293	1'23.539	1'23.193
4	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'23.862	1'23.881	1'23.265
5	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	1'24.485	1'23.957	1'23.478
6	4	山下 健太 Kenta Yamashita	FUJI×raffinee KONDO SF14 TOYOTA RI4A	1'24.007	1'24.049	1'23.516
7	3	ニック・キャシディ Nick Cassidy	FUJI×raffinee KONDO SF14 TOYOTA RI4A	1'24.396	1'23.960	1'23.785
8	15	ピエール・ガスリー Pierre Gasly	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	1'24.336	1'23.842	1'23.902
9	20	ヤン・マーデンボロー Jann Mardenborough	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'24.002	1'24.081	
10	7	フェリックス・ローゼンクヴィスト Felix Rosenqvist	SUNOCO TEAM LEMANS SF14 TOYOTA RI4A	1'24.089	1'24.093	
11	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40S SF14 Honda HR-417E	1'24.210	1'24.173	
12	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'24.200	1'24.202	
13	41	伊沢 拓也 Takuya Izawa	DOCOMO DANDELION M41Y SF14 Honda HR-417E	1'24.596	1'24.308	
14	18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	1'24.087	1'27.969	
15	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	1'24.612		
16	65	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	1'24.781		
17	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	REAL SF14 Honda HR-417E	1'24.802		
18	50	小暮 卓史 Takashi Kogure	B-Max Racing team SF14 Honda HR-417E	1'24.821		
19	8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	SUNOCO TEAM LEMANS SF14 TOYOTA RI4A	1'24.855		

予選通過基準タイム （Q1:107%） 1'29.724

車両：SF14 ／ タイヤ：ヨコハマ

7/9(土) 決勝レース

天候：☀　コース：ドライ　気温：32℃　路面温度：44℃
決勝レース距離 4.563km×55Laps=250.965km　観客動員数：34,600人(土日2日間総合計)
決勝レース 14:13〜15：33

▪ Race (55Laps) 2017.7.9

Po	No	Driver	Car Name / Engine	Laps	Time	Delay	BestTime
1	2	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	55	1:20'09.046	187.642km/h	1'25.663
2	7	フェリックス・ローゼンクヴィスト Felix Rosenqvist	SUNOCO TEAM LEMANS SF14 TOYOTA RI4A	55	1:20'16.315	7.269	1'25.581
3	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	55	1:20'31.888	22.842	1'26.156
4	19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	55	1:20'50.832	41.786	1'26.625
5	15	ピエール・ガスリー Pierre Gasly	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	55	1:20'50.867	41.821	1'26.252
6	41	伊沢 拓也 Takuya Izawa	DOCOMO DANDELION M41Y SF14 Honda HR-417E	55	1:20'52.430	43.384	1'26.481
7	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	55	1:20'53.113	44.067	1'26.737
8	20	ヤン・マーデンボロー Jann Mardenborough	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	55	1:20'53.407	44.361	1'26.552
9	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	REAL SF14 Honda HR-417E	55	1:20'53.956	44.91	1'26.790
10	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40S SF14 Honda HR-417E	55	1:20'55.238	46.192	1'26.843
11	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	55	1:21'12.893	1'03.847	1'26.949
12	8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	SUNOCO TEAM LEMANS SF14 TOYOTA RI4A	55	1:21'13.595	1'04.549	1'26.735
13	50	小暮 卓史 Takashi Kogure	B-Max Racing team SF14 Honda HR-417E	55	1:21'15.563	1'06.517	1'26.755
14	65	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	55	1:21'23.551	1'14.505	1'26.824
15	18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	55	1:21'30.220	1'21.174	1'26.308
以上完走（規定周回数 49Laps）							
-	4	山下 健太 Kenta Yamashita	FUJI×raffinee KONDO SF14 TOYOTA RI4A	46	1:08'46.143	9Laps	1'26.669
-	1	国本 雄資 Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	36	56'07.889	19Laps	1'26.093
-	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	25	38'52.625	30Laps	1'26.455
-	3	ニック・キャシディ Nick Cassidy	FUJI×raffinee KONDO SF14 TOYOTA RI4A	1	1'35.160	54Laps	

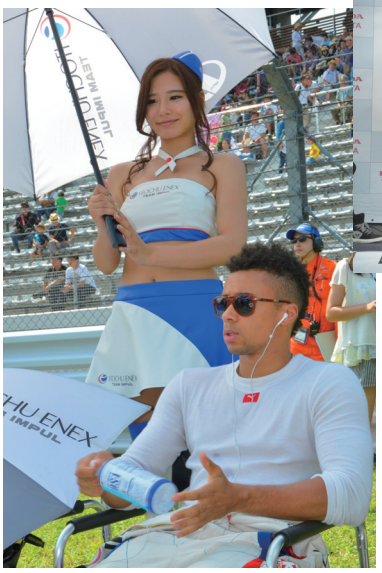
開始時刻： 14:13'43
終了時刻： 15:33'52.046

車両：SF14 ／ タイヤ：ヨコハマ

RANKING

▪ Driver ranking

Po	No	Driver	Rd1	Rd2		Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7		Total
1	2	石浦 宏明	5	0.5	5	10						20.5
2	36	アンドレ・ロッテラー	4	5	3	6						18
3	19	関口 雄飛	-	5	5	5						15
4	37	中嶋 一貴	11	-		2						13
5	7	フェリックス・ローゼンクヴィスト	-	-	2.5	8						10.5
6	16	山本 尚貴	8	2	0.5	-						10.5
7	1	国本 雄資	6	-		1						7
8	15	ピエール・ガスリー	-	-	1	4						5
9	18	小林 可夢偉	-	2.5	2	-						4.5
10	41	伊沢 拓也	1	-		3						4
11	3	ニック・キャシディ	-	3		-						3
12	10	塚越 広大	3	-		-						3
13	4	山下 健太	-	1	1.5	-						2.5
14	20	ヤン・マーデンボロー	-	1.5		1						2.5
15	64	中嶋 大祐	2	-		-						2
	40	野尻 智紀	-	-		-						
	8	大嶋 和也	-	-		-						
	65	ナレイン・カーティケヤン	-	-		-						
	50	小暮 卓史	-	-		-						

▪ Team ranking

Po	Team	Rd1	Rd2		Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7		Total
1	VANTELIN TEAM TOM'S	14	5	3	8						30
2	P.MU/CERUMO · INGING	11	0.5	4	10						25.5
3	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	-	5.5	5	6						16.5
4	TEAM MUGEN	8	2	1.5	4						15.5
5	SUNOCO TEAM LEMANS	-	-	2.5	8						10.5
6	KONDO RACING	-	4	1.5	-						5.5
7	KCMG	-	2.5	2	-						4.5
8	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1	-	-	3						4
9	REAL RACING	3	-	-	-						3
10	TCS NAKAJIMA RACING	2	-	-	-						2
	B-Max Racing team	-	-	-	-						-